



第5号様式(第5条)

政 務 活 動 費 収 支 報 告 書

令和2年 3月 26日

印西市議会議長 板橋 睦 様

会 派 名 創 進

代 表 者 櫻井 正夫

経 理 責 任 者 増田 葉子

令和元年5月14日付け印西総指令第2号で交付決定のあった政務活動費について、印西市議会政務活動費の交付に関する条例第8条の規定により下記書類を添えて報告します。

記

添付書類

- 1 政務活動費収支内訳書
- 2 政務活動費実施報告書

別添

政 務 活 動 費 収 支 内 訳 書

会 派 名 創 進
代 表 者 櫻井正夫
経 理 責 任 者 増田葉子

1 収支実績

収 入 A	支 出 B	差 引 A-B
1,440,000円	424,669円	1,015,331円

2 収支内訳

(1) 収入

項 目	内 容	金 額 (円)
補助金	30,000円×12カ月 ×4人	1,440,000円
合 計		1,440,000円

(2) 支出

項 目	内 容	金 額 (円)
調査研究費	先進市への視察調査	170,456円
研修費	セミナー参加費	25,250円
広報費	会派広報紙の発行	214,891円
広聴費	議会報告会の開催	5,832円
資料作成費	資料コピー代	1,840円
資料購入費	資料書籍の購入費	6,400円
合 計		424,669円

備考

- 1 用途基準の用途項目ごとに分類すること。
- 2 領収書等を添付すること。

会 計 帳 簿

(No. 1)

年月日	区分	費目	収入金額	支出金額	差引金額	備考
5/30	政務活動費	補助金	1,440,000	0	1,440,000	36万円×4人
6/30	調査研究費	電車運賃		45,160	1,394,840	
	調査研究費	電車運賃		36,560	1,358,280	
7/17	広聴費	施設使用料		600	1,357,680	
7/29	調査研究費	宿泊費		44,400	1,313,280	
7/30	調査研究費	レンタカー		12,178	1,301,102	
	調査研究費	ガソリン代		1,972	1,299,130	
7/31	調査研究費	電車運賃		17,000	1,282,130	
8/5	研修費	電車運賃		2,342	1,279,788	
	研修費	参加費		12,000	1,267,788	
8/17	広聴費	食糧費		511	1,267,277	
9/30	資料作成費	コピー代		60	1,267,217	
10/5	広聴費	施設使用料		1,080	1,266,137	
10/18	資料購入費	書籍代		6,400	1,259,737	
11/8	研修費	参加費		5,000	1,254,737	
	研修費	書籍購入費		3,500	1,251,237	
11/11	研修費	電車運賃		2,408	1,248,829	
11/17	広聴費	資料印刷		750	1,248,079	
	広聴費	食糧費		220	1,247,859	
12/14	広聴費	施設資料料		1,080	1,246,779	
12/20	資料作成費	コピー代		1,680	1,245,099	
1/29	調査研究費	電車賃		11,986	1,233,113	
	調査研究費	入館料		1,200	1,231,913	
2/9	広聴費	資料印刷		1,020	1,230,893	
	広聴費	食糧費		571	1,230,322	
2/18	広報費	印刷折込代		214,671	1,015,651	
2/18	広報費	振込手数料		220	1,015,431	
3/19	資料作成費	コピー代		60	1,015,371	
3/19	資料作成費	コピー代		40	1,015,331	
		計	1,440,000	424,669	1,015,331	

政務活動費事業実施報告書

会派名 創進

代表者氏名 櫻井正夫

件名	調査研究費
	愛知県豊田市（地域公共交通会議について） 愛知県豊橋市（廃校利用の青少年教育施設について）への視察調査
内容	<p>印西市では、令和元年度から2年度に地域公共交通網形成計画の策定に入り、市民要望の大きいふれあいバスの見直しに着手する。その参考となるように、先進事例である、愛知県豊田市のコミュニティバスについて視察研修した。また、学校適正配置計画が進行する中で、次々と閉校する学校施設が出てくる状況の中、施設の利活用の提案に資するよう、豊橋市の青少年教育施設「神田ふれあいセンター」を視察した。</p> <p>【愛知県豊田市】</p> <p>豊田市は合併によって918平方キロの広大な市域を擁し、公共交通はたいへん大きな政策課題である。コミュニティバス網は広大な市域を12地区に分け、各地区に中心となる結節点を設けて、結節点をシャトル便でつなぐ「基幹バス」と、結節点を中心に地域内をめぐる「地域バス」のネットワークで成り立っている。この形だと、地域バスが地域内を細やかに回りながら、基幹バスはより早く、駅や病院、学校などの目的地に到達することができる。</p> <p>現在のふれあいバスは、「市内の公共交通を回る循環型」という形だが、ネットワーク型の実際を学ぶことができ、大いに学べるものがあった。</p> <p>【愛知県豊橋市】</p> <p>閉校となった永治小学校、本埜第二小学校、宗像小学校の利活用が検討されているが、せっきくの教育施設を「宿泊体験施設」として再生させることはできないか、山の上の閉校施設を活用した「神田（かた）ふれあいセンター」を視察した。地元の世話役の女性が一人で管理し、ちょうど幼稚園の子どもたちが自然生活体験をしていた。管理の状況や活用方法など詳細を学ぶことができた。ぜひ当</p>

市でも実現できるよう提案していきたい。学校の教科活動だけでなく、学生サークルの合宿やサバイバル志向の家庭の宿泊所としても利用してもらえる可能性があるのではないかと考える。

参加者 櫻井正夫、松尾榮子、増田葉子、小川利彦

日時 令和元年7月29日、7月30日

経費 157,270円

電車運賃 98,720円

7/29	印旛日本医大→品川	1,366×2	2,732
	千葉ニュータウン中央→品川	1,304×2	2,608
	品川→名古屋(のぞみ19号)指定券	5,030×4	20,120
	乗車券	6,260×4	25,040
	名鉄名古屋→知立→豊田	790×4	3,160
	豊田→知立→豊橋	790×4	3,160
7/30	豊橋→品川(こだま670号)	9,140×4	36,560
	品川→千葉ニュータウン中央	1,304×2	2,608
	品川→印旛日本医大	1,366×2	2,732

宿泊 44,400円

レンタカー 12,178円

ガソリン代 1,972円

令和元年度 会派創進 視察報告

豊田市担当 松尾 榮子

【視察先：愛知県豊田市】

視察テーマ：豊田市公共交通会議の取組みについて

応対者：豊田市議会事務局 主査 中垣 和江氏

説明者：豊田市都市整備部 交通政策課

課長 中垣 秋紀氏

交通政策課公共交通管理・整備担当

主任主査 近藤 百合子氏

視察日時：令和元年7月29日（月） 13時30分～15時30分

参加者：会派 創進

代表 桜井 正夫、松尾 榮子

増田 葉子、小川 利彦

（無会派）柿原 健一

【視察地の概要】

愛知県豊田市は、名古屋市の東方に広がる人口約42万人、面積約918km²の広大な都市である。前身の挙母（ころも）町は昭和26年市制施行。昭和33年、豊田自動織機製作所の自動車部を誘致し、翌年、市名を「豊田市」に変更した。その後近隣市町村と数度の合併を経て、平成10年中核市に移行。平成17年、さらに周辺6町村と合併し、現在の県内1位の広さの都市になった。

平成21年、国の「環境モデル都市」に選定された他、「地域活性化総合特区」に指定。また「豊田市教育特区」「豊田市フルーツ酒特区」「豊田立ち乗り型パーソナルモビリティ実験特区」の構造改革特区に認定され、低炭素社会の実現や地域活性化に向けた各種の先進的な取組みが全国から注目されている。

【印西市での課題と視察目的】

印西市は、昭和50年台から千葉ニュータウン事業や民間開発が進められ、急激に成長。平成22年には隣接の印旛村、本埜村と合併し、市域も53平方kmから

2倍以上の123.79平方kmに広がった。

市では30年余の急激な都市化、人口増加に合わせ、都市基盤整備等を進めてきたが、市内の交通網の整備はまだ途上であり、市民意識調査等でも常に交通問題が上位の課題としてあげられている。市北部の成田線沿線地域と、市南部の北総線沿線地域を結ぶ公共交通として、「ふれあいバス」を6ルートで運行しているが、運行本数、ルート、速達性等についてまだ多くの課題がある。

市は今年度から印西市地域公共交通網形成計画の策定を開始。今後数年間で、計画を策定し、実行していく予定である。

一方、愛知県豊田市は、合併により成立した広大な市域を、鉄道、基幹バス、及び住民が運営に参画する「地域バス」によって、多核ネットワークで結ぶ取組みを進めており、こうした取組みを印西市の公共交通網形成に反映していくため視察地に選定した。

【視察内容】

視察では、豊田市都市整備部交通政策課・中垣課長、交通政策課公共交通管理・整備担当・近藤主任主査より、豊田市における公共交通の取組みについて、経緯、現況、課題等の説明をいただき、質疑応答を行った。

1、豊田市公共交通会議

豊田市は平成17年、市と周辺の4町2村の合併により、大阪府の約半分の面積918平方kmを有する県内一の広大な市となった。

都市近郊部に人口の95%（40.1万人）が住み、市域の70%を占める中山間部に5%（2.1万人）が住む広大な市域を、効果的・有機的に結ぶため、市では多核ネットワーク型都市構造を将来都市構造として設定。平成19年3月、「都市としての一体性の形成」「都市と農山村の共生」「交流人口の拡大による地域の活性化」を目標とする「豊田市公共交通基本計画」を策定した。

さらに平成28年にはネットワーク質の向上を目指した整備を行い、公共交通網形成計画に位置づけた「第2次公共交通基本計画」を策定、平成31年3月には「立地適正化計画」を策定し、公共交通網の見直し、充実を図っている。

【豊田市公共交通基本計画】

豊田市公共交通基本計画は、市内の公共交通を社会資本と位置付け、〈鉄道〉

と市内外の主要拠点を結ぶ〈基幹バス〉、また地域内を運行し交通結節点に連絡する〈地域バス〉で市内の公共交通の骨格を作る「多核ネットワーク型都市構造」の交通計画である。

市内のバス交通網が整備されたことで、平成 29 年度の年間利用者数は 273 万人になり、10 年連続増加しているとのことである。

◆基幹バスは、「とよたおいでん（いらっしゃい、の意味）バス」（市バス）、「名鉄バス」で、鉄道駅から市内各拠点を広域に結ぶ 21 路線（市バス 12、名鉄 9）が運行されている。

◆地域バスは、

○定時定路線平日毎日運行（通勤・通学利用）

○定時定路線平日毎日運行（通学利用・登下校の時間帯に各 1 本運行）

○曜日限定運行・デマンド運行

の組み合わせで地域コミュニティ内を運行し、交通結節点で基幹バスに連絡する。交通結節点は、病院等に設けられており、地域の住民は地域バスで病院等へ行くことができると共に、基幹バスへの乗り換えで市内の他地区や駅等へ行くことができる。市内 14 地区で運行。

【その他の取組み】

◆ＩＣカードの導入…全国で初めてコミュニティバスに交通系共通ＩＣカードを導入。鉄道、市バス、名鉄バスで共通利用が可能である。

◆貨客混載事業

○宅配物の貨客混載…おいでんバス×ヤマト運輸

宅配業者の山間地区等への配達について、市バスの専用スペースに積載。

地区の配送者へ届け、住民宅へ配送する。バス事業者は運賃収入。宅配業者は営業車両の効率的運用が図れる。実証実験を経て平成 30 年 1 月本運行開始。

○農産物等の貨客混載…おいでんバス×ＪＡあいち×道の駅（どんぐりの里）

平野部、山間部の農産物、特産物等を、市バスの専用スペースでＪＡあいちへ出荷。産直プラザや道の駅で販売している。実証実験を経て平成 31 年 4 月から本運行開始。

この他、◆燃料電池バスの運行（実証実験終了・本格導入予定）

◆バス×サイクリング（自転車を積載し山間部の景勝地まで運行）

◆タクシー活用事業（利用が少ないコミバスに代えて、一般タクシー利用に運賃補助を導入。（実証実験を経て平成31年4月から本運行。他地区でも導入を検討中。）

◆たすけあいプロジェクト

中山間部に暮らす高齢者等が住み慣れた自宅で最後まで暮らせるよう、住民共助のコミュニティを構築。おでかけ促進、移動支援、健康維持等の活動を行っている。実施主体は名古屋大学・足助病院、豊田市。

【主な質疑】

- Q. 都市部・農村部等市内の地域特性に応じた公共交通整備の考え方は。
- A. 都市化した市街地と広大な農村部を持つ大変広い市域を結ぶ交通計画であり、基幹バスで市内各地区の拠点を広域に結び、各地区で地域特性に応じた地域バスを運行することにより、広大な市域を効率的にカバーしている。
- Q. 名鉄バスとの競合はないのか。
- A. 協定を締結し、対応している。結節点で地域バスからの乗客も乗り換えで利用することにより、名鉄バスの利用客増にもつながっている。
- Q. 市民ニーズの反映は。
- A. 地域住民、商工会、病院、学校等が参加する運営協議会の意見に基づき、地域バスを運営、改善を行っている。
- Q. 基幹バス、地域バスの運賃は。
- A. おいでんバス→100円単位距離制（最大700円）
地域バス →平日毎日運行（1回200円）
曜日限定運行（1回100円）
- Q. バスの車両数は。
- A. 市バス33台、事業者21台の計54台である。
- Q. 財政面について。
- A. 基幹バスは、12ルート。運行経費は総額11億5407万円で、収入は5億8065万5千円。市負担金は平成30年度で5億7341万8千円であった。
地域バスは15運行。運行経費は3億8416万3千円で、収入は6069万9千円。市の負担金は平成30年度で3億2346万4千円であった。
- Q. 経費と収入、市の負担について、どう考えているか。

A. 市の負担については基本計画で市民一人当たり 2300 円と設定している。

平成 30 年度の基幹バス・地域バスの総合計では、市民一人当たりの負担は 2109 円であったが、現在は少々オーバーしている。持続可能性の向上に向けて、利用促進策や貨客混載事業等に取り組んでいる。

【所感】

豊田市は印西市の約 8 倍の面積で、都市部、農・山村部を持つ広大な市域の公共交通網の整備に早くから取り組み、鉄道・基幹バスと地域バスの多核ネットワークを構築し、地域交通の活性化を図っている。

同市の公共交通網整備計画は、市内の各地区を基幹バスと各地区を回る地域バスで結ぶネットワークの構築だけでなく、そうした交通網の利用促進、生産性・持続可能性の向上も含めた総合的な取り組みになっている。

平成 22 年の合併から 10 年を経た印西市でも、都市部や農村部等、地区ごとに求められる交通課題が異なり、一律の交通政策ではカバーできない問題がある。市では、現在、公共交通網の見直しを進めており、昨年度までに本埜地区でのオンデマンド交通の導入、印旛地区での路線バスの増強等を進めてきているが、利用率の問題や目的地への速達性の問題など、課題は多い。現在取り組んでいるふれあいバスの見直しを含め、印西市の効率的で持続性のある公共交通網形成に、豊田市の先進的・総合的な取り組み事例を反映していきたい。





令和元年度 会派創進 視察報告

愛知県豊橋市担当 小川利彦

【視察先：愛知県豊橋市】

視察テーマ：神田ふれあいセンターの現況について

豊橋市の生涯学習・青少年教育施設の状況及び、廃校の小学校施設を活用した青少年教育施設「神田ふれあいセンター」の現況について調査研究を実施する。

参加者：会派 創進

代表 桜井 正夫、松尾 榮子
増田 葉子、小川 利彦

視察日時：令和元年7月30日（火） 10時00分～10時30分

豊橋市役所にて研修

応対者 豊橋市議会事務局 議事課 前澤 完一課長
議事課 飛田 珠妃氏

説明員 豊橋市教育委員会 教育部

生涯学習課 課長 石川 和志氏

主幹 伊藤 訓子氏

青少年教育グループ 伴 容子氏

（移動／昼食／現地視察） 10時30分～16時30分

説明員 神田ふれあいセンター現地管理事務所
管理者 金田氏

【視察地の概要】

豊橋市は、愛知県の東南端に位置し、三河湾と太平洋に面する面積約 261 km²、人口約 37 万 6 千人の市である。江戸時代には東海道五十三次 34 番目の宿場町として栄え、明治以降も海運、養蚕のまちとして、東三河の中心都市として栄えてきた。平成 11 年には「中核市」に移行。530（ごみゼロ）運動発足の地でもある。

同市は長い歴史の中で市民の生涯学習やコミュニティ施策に力を入れ、地区ごとに図書室や大小会議室、調理実習室などを持つ生涯学習施設「地区市民館」を

全 22 館、また校区単位で大小会議室、実習室、図書談話室を持つコミュニティ施設「校区市民館」を全 50 施設保有。この他にも青少年の宿泊研修、キャンプ等を行える青少年教育センター等の施設を 5 施設等、多くの施設を保有している。

これら多くの施設が昭和 50 年代初期に集中して建てられ、多くが築 40 年以上を経過。また同じ地区に生涯学習施設とコミュニティ施設として同内容の建物が 2 館あるところもあり、今後は統廃合に向けた検討が実施される場所である。

また市内に 3 館、市外に 2 館ある青少年教育施設についても、各施設のほとんどの建物がそれぞれ築 4 5 年以上を経過していることから、民活を含め統廃合を検討しているところである。

【印西市での課題と視察目的】

印西市では現在、印西市学校適正規模・適正配置基本方針に基づき、小中学校の統廃合が進められている。平成 29 年 3 月永治小学校が木刈小学校に統合、平成 30 年 3 月には宗像小学校がいには野小学校と統合。さらに平成 31 年 3 月には本埜第一小学校と本埜第二小学校が統合され本埜小学校となり、現在、旧永治小学校、旧宗像小学校、旧本埜第二小学校の校舎が閉校に伴い空き校舎となっている。

しかしながら、地域にとって小学校は、親子が代々通い、何世代にもわたって地域のつながりを保ってきたコミュニティの拠点である。

こうした空き校舎は、建物を取り壊して更地に売却していく以外に活用法はないのか、地域の拠点として新たな形で活用できないか、廃校を活用して指定管理方式で自然の中での青少年教育施設を運営している豊橋市神田ふれあいセンターを視察すると共に、多くの生涯学習・教育・コミュニティ施設を保有する豊橋市の現状の視察研修を行った。

【行政視察】

豊橋市ではまず、市役所において教育委員会生涯学習課石川課長、伊藤主幹、青少年教育グループ・伴担当から、同市の生涯学習施策の取り組みと生涯学習施設の概要、今後の方向性等について説明を受けた。

その後、現地（神田ふれあいセンター）へ移動、管理を請負っている金田氏より、現地の案内及び説明を受けた。

同市の生涯学習関係施設は、以下の通り。

<地区市民館>

◆主な施設：事務室・図書室・多目的室・会議室（大・小）・調理実習室・談話コーナー・プレイルーム等。

◆配置：市内地区ごとに 22 館

◆建物：RC2～4F

<校区市民館>

◆主な施設：事務室・集会室・図書談話室・実習室・児童研修室・和室等。

◆配置：中学校区ごとに 2 か所。計 50 か所。

◆建物：RC2 階建、一部 1 階、平屋等。

<青少年教育施設>

◆市内 3 施設

	種 類	収容人員	管理	年間利用者 H29
① 青少年センター	宿泊研修	研修 100 人 宿泊 12 室 56 人	指定管理	57,380 人
② 少年自然の家	体育館・宿泊棟・キャンプ場	研修 120 人 宿泊 120 人 キャンプ場 130 人	職員 3 指導員 2 アルバイト 1	9,210 人
③ 野外教育センター	宿泊棟・キャンプ場	研修 120 人 宿泊 200 人 キャンプ場 130 人	職員 2 指導員 1 アルバイト 1	10,284 人

◆市外 2 施設

④江比間野外教育センター（田原市）	宿泊研修・キャンプ場	研修 210 人 宿泊 98 人 キャンプ場 120 人	職員 1 指導員 1 アルバイト	9,239 人
⑤神田ふれあいセンター（設楽町）	研修施設（木造校舎）	会議室貸出終了 集会室・調理室 50	指定管理	3,023 人

【所感】

閉校した小学校校舎のこれからを地元の協力で、子どもたちの社会教育に活用される公共施設の跡地を見て・聞いて・感じたもの。

印西市の教育施策の柱は、変化の激しい予測困難な社会を生き抜く力、「生きる力」の育成です。そして、「生きる力」は、豊かな体験によって育まれるものだと思います。

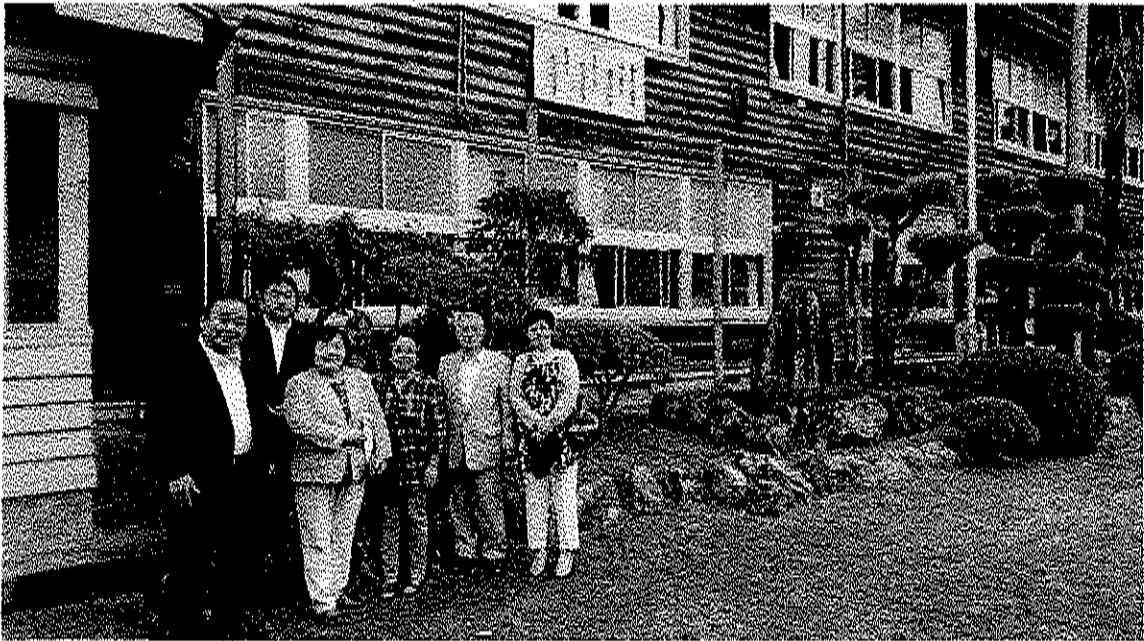
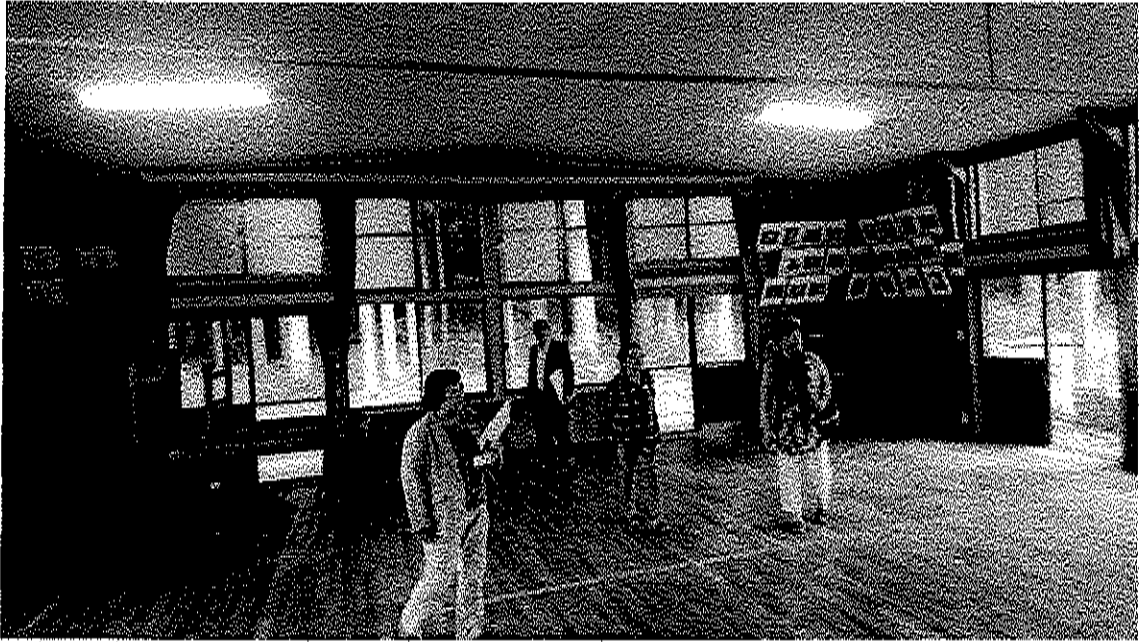
閉校となった旧永治小学校、旧本埜第二小学校、旧宗像小学校の利活用が検討されていますが、せっかくの教育施設、「生きる力」を育てる「宿泊体験施設」として再生させることはできないのか。という部分を研修が出来たものと感じました。会派創進では、「白鳥」という地域資源をもち、農業や田舎暮らしを体験できる宿泊施設として旧本埜第二小学校を利活用できるのではないかと山の上の小さな元学校施設を、地元の世話役の女性が管理している「神田ふれあいセンター」を視察してまいりました。

この日は、幼稚園児や小学生児童のサマースクールの自然生活体験がなされておりました。

ニュータウン地区に生活している子供たちには、見るものや体験する全てが新しいものだったと思います。

もし、印西市の空き校舎で実現すれば、学校の教科活動だけでなく、学生サークルの合宿やアウトドア志向の家庭の宿泊所としても利用してもらえenと思います。木造校舎と鉄筋コンクリート校舎との違いはあるが、利活用方法は神田ふれあいセンターと同様に利活用できる施設とするために印西市教育委員会に働きかけをしていきます。





領 収 証

No 045500

2019年 7月 30日

印西市議会会派 創進 様

金額 ￥ 12178

(消費税 902円を含む)

内 訳	レンタル代	12178	通信機器		金 種	現金	
	燃料代		自賠責保険料			小切手	
	N O C		保険料			溢込	
	リース代					手形	
	車両代					クレジット カード	12178
	部品代						

上記の通り正に領収致しました。

備考

株式会社イデミツクレジット

〒466-0057

名古屋市昭和区高辻町6番8号

▶消費税除き
5万円未満不要
100万円以下200円
200万円以下400円
300万円以下600円



金額を訂正したもの、社印、取扱蓋印のないものは無効です。
後日正規保険料領収証発行の場合上記保険料充当額につき本領収証は無効になり察す。



お客様控え

IDEMITSU (クレジット領収書)

347413

荒木石油店
セルフ洗機SS
愛知県豊橋市八町通3-92
TEL 0532-55-9221

売上 2019年 7月30日 16:08

OGAWA T
クレジット

出光サービス P-10(内)
0136.0 1972円

合計 1,972円
(内、消費税等(8.00%) 146円)

不明な点
はご連絡を
お願いいたします

印西市議会
会派 創造 様

領 収 証

2019年 6月30日

金45,160円

ただし、乗車券類代
(クレジットカードによるご利用分)として、上記金額を受領しました。

本領収証は時間がたつと文字が薄くなる場合がありますので、
長期間保存する場合はコピーをお取り下さい。

印 紙 税 申 告 納
付 に つ き 淡 谷
税 務 署 承 認 済

東日本旅客鉄道株式会社
木下801 No.000002

印西市議会
会派 創造 様

領 収 証

2019年 6月30日

金36,560円

ただし、乗車券類代
(クレジットカードによるご利用分)として、上記金額を受領しました。

本領収証は時間がたつと文字が薄くなる場合がありますので、
長期間保存する場合はコピーをお取り下さい。

印 紙 税 申 告 納
付 に つ き 淡 谷
税 務 署 承 認 済

東日本旅客鉄道株式会社
木下801 No.000004

領 収 書
RECEIPT



237830

2019 年 7 月 29 日

印西市議会 会派 創造 様

¥ 44,400-

内訳
 現金
 クレジットカード

収入印紙

但し 御宿泊代として

上記のとおり正に領収しました。

消費税等

担当者印

ホテルアソシア 豊橋

440-0075 愛知県豊橋市花田町西宿 電話(0532)57-1010

ご注意:担当者印のないもの、金額
を訂正したものは無効とします。

支出証明書

1 支払金額 17,000 円

上記の金額を支払ったことを証明します。

令和元年 7月 31日

会派名 創 進
代表者名 櫻井正夫



区 分	調査研究費	研修費	広報費	広聴費
	資料作成費	資料購入費	人件費	
内 訳	電車運賃			
理 由	愛知県豊田市、豊橋市への調査研究に際し、利用した交通機関の運賃を支払ったもの。			
債 権 者 住所・氏名	櫻井正夫、松尾榮子、増田葉子、小川利彦			

<別紙>

会派 創造 視察研修行程

月	日	曜	場所	時刻	交通手段	金額		備考	
						単価/人数	合計		
7	29	月	印旛日本医大駅	発 7:22	アクセス特急西馬	1390×2人	2,780	中央7:36普通羽田行も 可(品川18:50)	
			千葉NT中央駅	発 7:28	込行/泉岳寺エア	1320×2人	2,640		
			品川駅	着 8:31	ポート急行羽田行				
			名古屋駅	発 9:11	新幹線のぞみ19号	(新)5,030×4人	45,160		
			名鉄名古屋駅	着 10:47		(乗)6,260×4人			
			知立駅(乗り換え)	発 11:03	名鉄名古屋本線特				
			豊田市駅	着 11:23	急豊橋行	790×4人	3,160		徒歩10分
			豊田市役所にて視察研修	着 11:35	名鉄三河線猿投行				
			豊田市駅	発 13:30~					
			豊田市駅	着 15:30					
7	30	火	豊田市駅	発 16:00	名鉄三河線知立行				
			知立駅(乗り換え)	着 16:25					
			豊橋駅	発 16:38	名鉄名古屋本線快	790×4人	3,160		
			ホテル宿泊	着 17:07	特豊橋行				
			豊橋市役所にて視察研修		ホテルアソシア豊橋	13,000×4人	52,000		
			移動・昼食・現地視察 (神田ふれあいセン	10:00~					
			豊橋駅	10:30~					
			品川駅	16:30					
			品川駅	発 17:35	こだま670号	トヨタレンタカー	13,200		
			泉岳寺(乗り換え)	着 19:39		16,500×4/5			
千葉NT中央駅	発 19:55	京急エアポート快特	9,140×4人	36,560					
千葉NT中央駅	着 21:05	都営浅草線印西牧 の原行	1320×2人 1,390×2人	5420		(途中、印旛日医大行 2人乗換あり)			
計						164,080	※レンタカー一代は予定		

政 務 活 動 費 事 業 実 施 報 告 書

会 派 名 創 進

代表者氏名 櫻 井 正 夫

件 名	調査研究費
東京都福生市（防災食育センター） 立川市子ども未来センター（立川まんがぱーく） への視察調査	
内 容	二つの大型台風の襲来を受け、災害時対応を検証するなかで、給食センターへの避難、非常食の炊出し機能をもつ福生市の防災食育センターを見学、研修すべきと考えた。また、乗り換え駅である立川市で、漫画だけの公共図書館として話題の立川まんがぱーくに立ち寄り、見学することとした。
【福生市】	福生市は都心から西へ40キロメートル、多摩川に沿った武蔵野台地に立地し、地勢的に印西市に近いものを感じた。市域は10平方キロと小さく、しかもその33%は米軍横田基地に属している「基地のまち」である。 台風19号では多摩川の増水で一時1500人の市民が避難する事態となり、水害への備えの見直しが急ピッチで進められている。当市の状況を考え、取り組むべきことは多いと改めて思った。防災食育センターは、旧給食センターの老朽化により整備が検討され、防災機能を総合的に不可することで、基地関連補助金を活用し、一般財源の負担はわずか2億円ということに驚いた。 災害時には避難所となり、食料備蓄庫として、全市民に一日分のおにぎりを提供できる機能を備えている。実際の稼働はこれからだが、すべて防災につながる視点は、非常に参考になるものだった。
【立川まんがぱーく】	旧市役所の跡地を活用して整備された「立川市子ども未来センター」の中にサウンディング調査によって提案された、漫画だけの公共図書館（有料なので正式には図書館ではない）である。平日にもかかわらず老若男女でにぎわい、

閲覧場所は、机や椅子ではなく、畳のごろ寝や階段、壁の隅っこのような、昔なつかしい造りになっている。市からの委託料（指定管理料）はなく、入場料収入だけで運営されており、市民の集まるどころ、若者の居場所として定着しているように感じた。当市では、「若者の居場所」「文化の拠点」が乏しく、「居場所」とコミュニティをどのように整理していくかなど、課題も多い。すぐすぐにこのような施設にはたどり着けないと考えるが、今後の参考にしたい。

また、子ども未来センターは、子育ての相談所、保健センター、一時預かりの託児所なども併設され、子育て関係の施設が集まっている。UR事務所跡地の複合施設には、子育て関係の施設が整備される予定なので、参考になった。

参加者 櫻井正夫、増田葉子、小川利彦

日時 令和2年1月27日

経費 13,186円

電車運賃 11,986円

千葉ニュータウン中央→東松戸 643×1（往復）1,286

印旛日本医大→東松戸 773×2（往復）3,092

東松戸→西国分寺→立川 1,100×3（往復）6,600

立川→拝島 168×3（往復）1,008

入場料 1,200円

会派 創進 視察行程

日 程：令和2年1月27日（月）

出 席：櫻井正夫、増田葉子、小川利彦

研修先：福生市防災食育センター、立川子ども未来センター（立川まんがぱーく）

8：45 千葉ニュータウン中央駅集合

8：58 千葉ニュータウン中央駅発

9：10 東松戸駅着

9：24 東松戸駅発 JR武蔵野線

10：28 西国分寺着 中央線快速

10：40 立川駅着

立川子ども未来センター（立川まんがぱーく）見学

昼食

13：08 立川駅発 JR中央線、青梅線

13：28 拝島駅着

福生市防災食育センター

視察研修 14：00～16：00

16：13 拝島駅発 西国分寺、東松戸経由

18：06 千葉ニュータウン中央駅着 解散

領 収 証

No. 001931

印西市議会令派倉道

様

★

¥ 1200-

但 ぶんかほへく 入館料として

2020年 1 月 27日 上記正に領収いたしました。

内 訳

税抜金額

消費税額等 (%)

立川市子ども未来センター

指定管理者 株式会社 舎人社計画研

広島県広島市中区袋町

TEL 082-247-7

発行者名:

印

社印および発行者印なきものは無効です。

支出証明書

1 支払金額 11,986 円

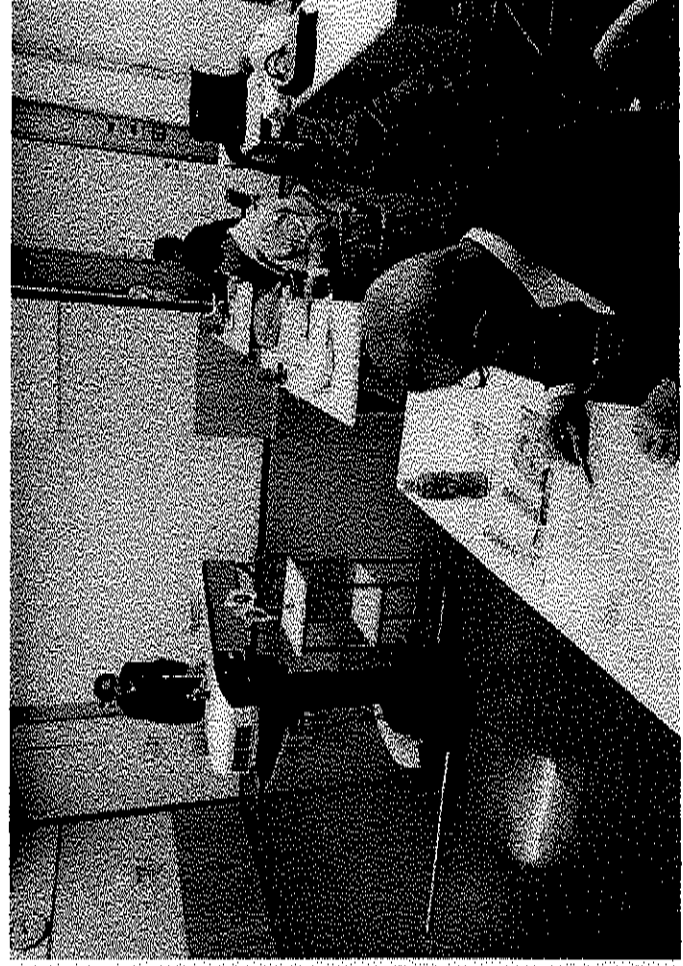
上記の金額を支払ったことを証明します。

令和 2年 1月 29日

会派名 創 進
代表者名 櫻井正夫



区 分	調査研究費	研修費	広報費	広聴費
	資料作成費	資料購入費	人件費	
内 訳	電車運賃			
理 由	東京都福生市、立川市への調査研究に際し、利用した交通機関の運賃を支払ったもの。			
債 権 者 住所・氏名	櫻井正夫、増田葉子、小川利彦			



政務活動費事業実施報告書

会派名 創進

代表者氏名 櫻井正夫

件名	研修費
「脱原発一日セミナー 原発ゼロ社会をめざして—私たちの課題」への参加	
内容	<p>エネルギー問題は国が大きな方針を決めるものであるとともに、再生可能エネルギーの普及で、地域でも考えていくべき課題となったと認識している。</p> <p>セミナーでは、原発後の経済、社会のあり方、地域のあり方を多面的に知ることができ、たいへん参考になった。これからの主要エネルギーは再生可能エネルギーであり、一つの方策としてソーラーシェアリングの施策の詳細も知ることができた。</p> <p>シンポジウムでは、長い歴史の中で、地域住民がどう原発と向き合ってきたのか、地域の分断と向き合う苦悩の声をきくことができた。地域合意のむずかしさを改めて認識した。</p> <p>エネルギー問題は、もっとも身近で、もっとも遠い問題である。市民に身近に考えてもらえるような方策を探る参考になった。</p>
参加者	増田薬子
日時	令和元年8月2日
経費	14,342円
	電車運賃 2,342円
	千葉ニュータウン中央～代々木（往復）1,171円×2
	セミナー参加費 12,000円

原発ゼロ社会をめざして—私たちの課題

8/2(金) 10:20~16:00 於: 婦選会館



3.11から8年、この間行われた5回の国政選挙でエネルギー政策が大きな争点となることはありませんでしたが、今夏の参院選はどうでしょうか。

先ごろ日本原電は、避難計画も進まないまま東海第2原発の再稼働を明言しました。これに対し茨城県を除く関東6都県の知事は、再稼働の是非を問うメディアのアンケートに賛否を明確に示すことなく、

国に判断を委ねるとの回答が複数あったと、当事者意識の低さが報じられていました。

また東電は4月から始まった新たな特定技能外国人労働者を福島第一原発の廃炉作業等で受け入れる方針を明らかにし、安全策も懸念されています。このような状況を踏まえて今年のセミナーでは、原発ゼロをめざして私たちの課題を考えます。

プログラム

10:20~10:30	開会
10:30~12:00	基調講演「原発ゼロで日本経済は再生する」 吉原 毅氏(城南信用金庫顧問)
12:00~13:00	休憩
13:00~16:00	シンポジウム「原発立地自治体の課題」 パネリスト 惠利 いつ氏(茨城県東海村議会議員) 池田 千賀子氏(新潟県議会議員) 伊藤 実氏(浜岡原発を考える会代表) コーディネーター兼コメンテーター 飯田 哲也氏(環境エネルギー政策研究所所長)

メッセージ

吉原毅氏 福島第一原子力発電所の事故から8年が経過しましたが、未だに収束の目途すら立っていません。この事故により、原発推進者たちが言っていた「原発は安全で、クリーンで、コストが安い」が、全てウソであったことが明白になりました。今、世界は、原発から自然エネルギーに舵を切り、物凄い勢いでエネルギー産業が発展しています。日本も、一日も早く原発ゼロの社会を実現して、自然エネルギーの推進による経済成長を目指しましょう。

飯田哲也氏 原発立地自治体は、難題に直面している。難題をいっそう難しくしているのは、自治体が真実を直視せず「原子カムラの虚言」を信じたふりをしてきたことだ。「原発は安全でクリーン」「原発で地域が豊かになる」、いずれも事実には照らせば虚言だ。加えて「使用済燃料は運び出す」というのも「空約束」になろうとしている。原発立地自治体は、今こそ、そうした困難な事実と向き合った上で、その「難題」を克服して真の地域再生に取り組むべき時だ。

- 参加費 現職議員12,000円、現職議員以外は3,000円(ともに税込)
- 対象 自治体議員及びその支援者、テーマに関心がある人(主に女性)
- 定員 約40名(受付先着順)

▼参加希望の方は7月29日(月)までに、①電話、FAX、メールでの申込み、②参加費の払込みをもって受付といたします。払込みが遅れる場合は必ずご一報ください。キャンセルは7月29日(月)までは申し受けます。

▼講師の都合などにより変更がある場合は、ご了承ください。

主催: (公財) 市川房枝記念会女性と政治センター

〒151-0053 東京都渋谷区代々木2-21-11 婦選会館 TEL: 03-3370-0238 FAX: 03-5388-4633
E-mail: fitikawa.moushikomi@fork.ocn.ne.jp URL: https://www.ichikawa-fusae.or.jp

2019 脱原発一日セミナー

原発ゼロ社会をめざして—私たちの課題

8/2(金) 10:20~16:00 於: 婦選会館

主催: 公益財団法人市川房枝記念会女性と政治センター



■プログラム

総合司会 愛知県西尾市議 鈴木 規子

10:20~10:30 開会あいさつ

財団理事長 久保 公子

10:30~12:00 基調講演「原発ゼロで日本経済は再生する」

吉原 毅 氏 (城南信用金庫顧問)

12:00~13:00 昼食・休憩

13:00~16:00 シンポジウム「原発立地自治体の課題」

パネリスト 恵利 いつ 氏 (茨城県東海村議会議員)

池田 千賀子 氏 (新潟県議会議員)

伊藤 実 氏 (浜岡原発を考える会代表)

コーディネーター兼コメンテーター 飯田 哲也 氏 (環境エネルギー政策研究所所長)

16:00~ 閉会あいさつ

市川房枝政治参画フォーラム企画運営委員長 住田 啓子

【施設のご案内】

☆受付・事務局・書籍など販売: 1階

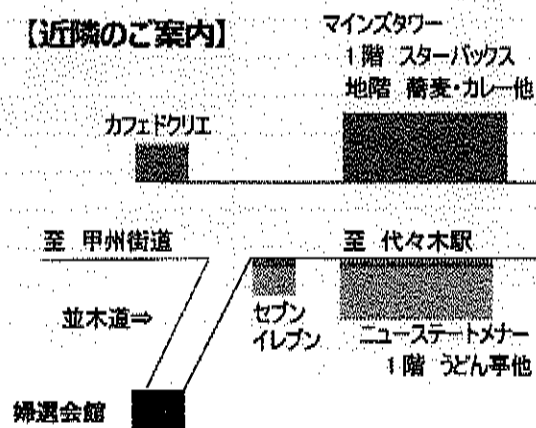
☆会場: 1階多目的ホール

☆市川房枝記念展示室: 2階

☆トイレ: 女性 (1~3階) 男性 (2~3階)

☆飲料自販機: 玄関を出て左側

【近隣のご案内】



領 収 証

No. 47

2019年8月2日

印西市議会 会派 倉川進様

★ ¥12,000-

但 市川房枝政治参画フォーラム参加費 $\frac{8}{2}$ 枚押送(日セミナー)
上記正に領収いたしました

内 訳
税抜金額
消費税額等(%)

市川房枝記念会女性と
 東京都渋谷区代々木2-21-11
 電話 03 (3370) 0 2 3 8

支出証明書

1 支払金額 2,342 円

上記の金額を支払ったことを証明します。

令和 元年 8月 5日

会派名 創 進
代表者名 櫻井正夫



区 分	調査研究費	研修費	広報費	広聴費
	資料作成費	資料購入費	人件費	
内 訳	電車運賃			
理 由	地域エネルギー課題のセミナーへの参加に際し、利用した交通機関の運賃を支払ったもの。			
債 権 者 住所・氏名	増田葉子			

政 務 活 動 費 事 業 実 施 報 告 書

会 派 名 創 進

代表者氏名 櫻 井 正 夫



件 名	研修費								
「指定管理者制度をめぐる課題と災害時対応の考え方」への参加									
内 容	<p>指定管理者制度は平成 16 年度に創設され、印西市においても制度導入から 15 年経過している。行革大綱や事務指針等で積極的な導入を掲げているが、既設の施設については進んでいるとは言い難い。</p> <p>また、時間を経たからこそ制度のメリットデメリットもわかってくるものだが、その検証もできているとは言い難い。さらに、災害時の対応や、リスクの分担など、総合的に考えていかなければならないことも出てきた。</p> <p>講師は北海道大学の宮脇淳教授で、公共政策、指定管理者制度について基礎からの講義があり、改めて確認できたとともに、災害時に避難所となる公共施設のほとんどが指定管理者となった場合にどのような心配が出てくるか、内心、震撼とする思いがあった。メリットデメリットではなく、メリットとリスクをどのように評価していくのが今後の課題であると感じた。たいへん参考になるセミナーであった。</p>								
参加者	増田葉子								
日 時	令和元年 11 月 8 日								
経 費	10,908円								
	<table border="0"> <tr> <td>電車運賃</td> <td>2,408円</td> </tr> <tr> <td>千葉ニュータウン中央～茗荷谷（往復）</td> <td>1,204円×2</td> </tr> <tr> <td>セミナー参加費</td> <td>5,000円</td> </tr> <tr> <td>アゲスト代（書籍購入）</td> <td>3,500円</td> </tr> </table>	電車運賃	2,408円	千葉ニュータウン中央～茗荷谷（往復）	1,204円×2	セミナー参加費	5,000円	アゲスト代（書籍購入）	3,500円
電車運賃	2,408円								
千葉ニュータウン中央～茗荷谷（往復）	1,204円×2								
セミナー参加費	5,000円								
アゲスト代（書籍購入）	3,500円								

指定管理者制度をめぐる課題と災害時対応の考え方

図書館総合研究所

【講師】 宮 脇 淳 北海道大学 大学院法学研究科・公共政策大学院 教授

【進行】 10:30 開会
10:35-12:30 講義と質疑
12:30-13:30 休憩
13:30-15:15 講義と質疑
15:15-16:00 意見交換
16:00 閉会

【日時】 2019年11月8日(金)10:30-16:00

【会場】 図書館流通センター本社 (東京都文京区大塚 3-1-1)

【資料】 1. 指定管理者制度をめぐる課題と災害時対応の考え方
2. 災害時の指定管理者の対応例

領収書

印西市議会
会派 創進 様

金 5,000 円 (消費税込み)

但し、研究会参加費として
(指定管理者制度研究会「指定管理者制度をめぐる課題と災害時対応の考え方」
令和元年 11 月 8 日開催)

令和元年 11 月 8 日

株式会社区書館総合研究所
東京都文京区大塚三丁目1番1号
代表取締役 佐藤 誠

No.1911-b

領収書

会派 創進 様

金 3,500 円 (消費税込み)

但し、書籍代として
(『指定管理者制度問題解決ハンドブック』東洋経済新報社 1冊
令和元年 11 月 8 日開催)

令和元年 11 月 8 日

株式会社区書館総合研究所
東京都文京区大塚三丁目1番1号
代表取締役 佐藤 誠

支出証明書

1 支払金額 2,408 円

上記の金額を支払ったことを証明します。

令和 元年 11月 11日

会派名 創 進
代表者名 櫻井 正夫



区 分	調査研究費	研修費	広報費	広聴費
	資料作成費	資料購入費	人件費	
内 訳	電車運賃			
理 由	指定管理者制度の災害時対応のセミナーへの参加に際し、利用した交通機関の運賃を支払ったもの。			
債 権 者 住所・氏名	増田葉子			

指定管理者制度 問題解決ハンドブック

宮脇 淳
〔総著〕

井口寛司十若生幸也
〔著〕

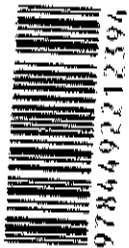
市民が留意すべき 実務上の要点を 徹底解説

指定管理者制度 問題解決ハンドブック

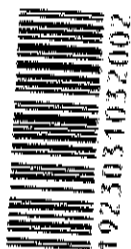
宮脇 淳 〔総著〕

井口寛司十若生幸也 〔著〕

東洋経済



978492212394



1923031032002

ISBN978-4-492-21239-4

C3031 732001

定価(本体3200円＋税)

- 序 章 ― 実践面にみられる問題と対処の方向性
- 第1章 ― 指定管理者制度のジレンマ
- 第2章 ― 指定管理者制度の行財政的ガバナンス問題
- 第3章 ― 指定管理者制度の法的検討
- 第4章 ― 指定管理者選定審査とプロセスの課題
- 第5章 ― 内部統制と指定管理者制度

目次

御 請 求 書

令和2年2月10日

No. _____

印西市議会 会派 創進 様


〒270-0001 松戸市幸田 5-122-

SK企画

TEL 090-5448-1792

担当 

下記のとおり御請求申し上げます

合計金額		¥ 214,671			
摘 要	サイズ	数 量	単 価	金 額	
「創進」印刷代					
マットコート70紙 両面カラー					
タブロイド版 データ支給		22,580	4.5	101,610	
データ変換代				10,000	
新聞折り込み代					
2/2折込 印西市内		22,580	3.7	83,546	
			小計	195,156	
消費税 10%				19,515	
合 計				214,671	
【備 考】					
【お振込先】					
					
お支払い期限 2/28					



自動サービスご利用明細票

ご利用いただきましてありがとうございます。

お取扱日	取扱店	号機	NB	銀行番号	口座店	口座番号	通番	お取引内容
02-02-18	[REDACTED]	93	N	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	7	引出
万円	千円	百円	十円	円	お取引金額	お取引後元帳残高		
					¥214,671	¥220*****		
ご案内		* お振込明細 *		0E0007				
お振込先		[REDACTED]					09:30	
ご依頼人		インサ イシキ カイ カイ ソウジ マスダ ヨウコ 様					印紙税申告納付につき千葉東税務署承認済	

印紙税納付の必要がない場合は *印で消しております。
裏面記載の「お知らせ」をお読みください。



印西市議会
会派

創造 進

議会報告

発行

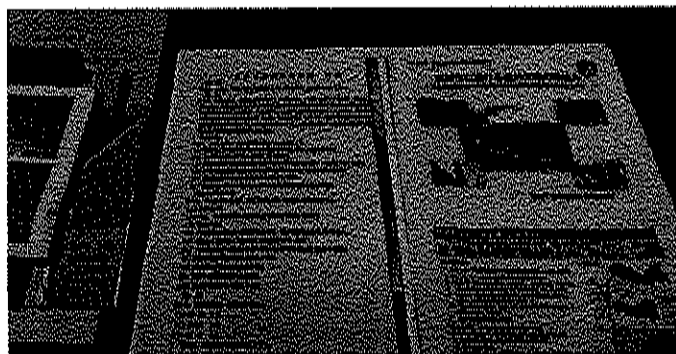
印西市議会 会派 創造

Vol.11 2020 / 2

印西市大森 2364-2

これからやってくる本格的な高齢社会に備えて…

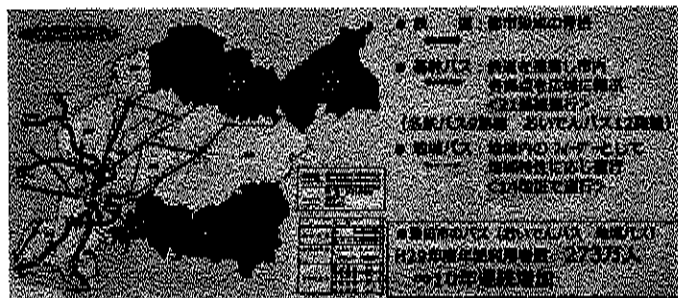
公共交通網整備をどう進めるか



愛知県豊田市の コミュニティバス網を学ぶ

会派では昨年、愛知県豊田市で視察・研修させていただきました。豊田市のコミュニティバス網は、市域をいくつかの地域に分け、各地域に中心となる結節点を設けて、結節点をシャトル便でつなぐ「基幹バス」と、結節点を中心に地域内をめぐる「地域バス」のネットワークで成り立っています。このネットワーク型だと、「地域バス」が地域を細やかに回りながら、「基幹バス」はより早く、駅や病院、学校などの目的地に到達することができます。

印西市のふれあいバスは、現在、「市内の公共施設を回る循環型」が基本形です。目的地は駅だとしても、ぐるぐると用のない施設を回ることになります。「公共施設を結ぶ足」という位置づけも時代に合わず、「循環型」も速達性において限界に達しています。



市民の利用促進・持続性に配慮した豊田市公共交通ネットワーク

現在、印西市では公共交通網の見直しが進められています。先月開催された「ふれあいバス見直し検討分科会」に提出された市民アンケートや利用調査、利用者アンケートなどから見える印西市の状況は、自動車の保有世帯は98%、ほぼ毎日自動車運転する人は75%、鉄道をまったく利用しない人が50%という超・車社会です。

これから本格的に高齢化が進むなか、運転免許を返納しても、今の暮らしや活動を維持していくには、公共交通の役割が重要になります。より便利に、より利用しやすい公共交通の整備をどう進めるのか、会派創造では、先進市を調査し、議会において提言するなど取り組みを進めています。



視察先の豊田市議会本会議場にて

また豊田市では、運行時間、本数、運賃の基本となる「サービスレベル」を設け、市街地の路線では基準よりも高水準なサービス（通勤通学時間帯は一時間に3本）とするなど、あらかじめサービスのレベルを市民に示し、それに沿って運行してくれる事業者を公募により委託しています。

会派創造では、代表質問、個人質問などで、こうした問題点を指摘し、改善を求めています。これからも市と一緒に調査、研究を重ねていくよう努めます。

会派 創造 は こうした取り組みを印西市政に提言していきます。

公共施設、学校等の空き施設

地域の環境生かし市民のために最大活用を

日本の子ども人口の減少が進む中、昨年は印西市において市立小学校2校が統廃合されました。山間部の学校は子ども達に対して様々な良い影響を与えます。山々に生い茂る

樹木の中で自然を直接体験し、その体験から本では学べないような動物や昆虫等との直接の触れ合いや、春夏秋冬を通して自然の観察をすることができ、教育的

にも環境的にも子どもたちの将来に大きなプラスになると思うのです。

統廃合が進む今は、この廃校の校舎や校庭を子どもたちや市民のために、いかに最大限に活用していくかという課題があります。これまで調査した中で非常に参考になった活用状況を基軸に、地区住民の方々と知恵を出し合い、課題に取り組んでいきたいと考えます。

閉校した小学校校舎のこれから

地元の協力で、子どもたちの社会教育に活用される公共施設の跡地

印西市の教育施策の柱は、変化の激しい予測困難な社会を生き抜く力、「生きる力」の育成です。そして、「生きる力」は、豊かな体験によって育まれます。

閉校となった旧永治小学校、旧本笠第二小学校、旧宗像小学校の利活用が検討されていますが、全く検討の結果が出されておられません。

本来の機能を終えた教育施設において「生きる力」を育てる「宿泊体験施設」として再生させることはできないでしょうか。

会派創進では、「白鳥」や「ホテル」等の地域資源を生かし、農業や田舎暮らしを体験できる宿泊施設として旧本笠第二小学校等を活用できるのではないかと、昨年、愛

知県豊橋市の「神田（かだ）ふれあいセンター」を視察しました。

山の上の小さな元学校施設を、地元の世話役の女性が管理し、その日は幼稚園の子どもたちが自然生活体験をしていました。印西市でも実現すれば、学校の教科活動だけでなく、学生サークルの合宿やサバイバル志向の方々の宿泊所としても利用してもらえそうです。



管理に携わる地元協議会の方と



愛知県豊橋市神田ふれあいセンター

印西市の開校した学校は、鉄筋コンクリート造ですから木造校舎の様な雰囲気はありませんが、避難所を含む利活用ができるものと思います。まだまだ利用価値のある校舎をそのままにしておくことは、本当に問題であると思います。早急に利活用方法を決定していくよう、教育委員会に働きかけをしていきます。

印西市議会 会派 創進 メンバー連絡先

桜井 正夫 (さくらい まさお)

住所 〒270-1616 印西市岩戸 3626

連絡先 Tel 0476-99-0577 Fax 0476-99-0677

主な役職 建設経済常任委員



会派代表

増田 葉子 (ますだ ようこ)

住所 〒270-1347 印西市内野 2-1-6-202

連絡先 Tel/Fax 0476-46-6809

E-Mail YFA49624@nifty.com

主な役職 議会運営委員 総務企画常任委員



会計担当

松尾 栄子 (まつお えいこ)

住所 〒270-1359 印西市木刈 2-10-9

連絡先 Tel 0476-46-7998 Fax 0476-46-8102

E-Mail mytime@rurbannet.ne.jp

主な役職 文教福祉常任委員長



広報担当

小川 利彦 (おがわ としひこ)

住所 〒270-2322 印西市笠神 636

連絡先 Tel 0476-97-3426 Fax 0476-97-5133

E-Mail ponntaku1188@yahoo.co.jp

主な役職 予算審査常任副委員長



企画担当

政 務 活 動 費 事 業 実 施 報 告 書

会 派 名 創 進

代表者氏名 櫻 井 正 夫



件 名	広聴費
議会報告会の開催（3回）	
内 容	令和元年第2回、第3回、第4回定例会終了後に報告会を実施し、議案の説明を行うとともに、市民からの質問や意見を受け、市政への提案に反映させた。毎回20名前後の市民の参加を得て、市民との自由な意見交換の場となった。
開催日	令和元年8月17日（土） 9：30～13：00 令和元年11月17日（日） 13：30～16：30 令和2年2月9日（日） 13：30～16：30
会 場	中央駅前地域交流館 会議室
参 加	増田葉子
経 費	5,832円
	施設使用料 2,760円
	資料作成費 1,770円
	お茶、紙コップ 1,302円

印西市立中央駅前地域交流館使用許可書
(兼領収書)

令和元年 7月17日

会派創進 様

印西市教育委員会



施設等の使用については、次のとおり許可します。

予約番号	使用年月日(曜日) 使用時間	施設名	使用目的 使用人数	使用料	使用備品	備考 (行事名)
9998	R 1. 8.17(土) 9:00~13:00	中央駅前地域 交流館 会議室3	その他(目的 外使用) 10人	600円		-1.8.17
注意事項					使用料合計	600円
1 法令または条例等に違反した場合や館長の指示に従わない時は、使用許可を取り消す場合があります。						
2 設備や備品を汚損した場合は、その損害を賠償していただきます。						
3 使用時間になりましたらこの許可書を受付に提示して、鍵と使用報告書をお受け取りください。また、終了時間までに鍵と使用報告書を受付に返却してください。						
					下記の金額を領収しました。	
						600円
					領収印	
					印西市 出納員	
					-1.7.17	
					領収 中央駅前地域交流館	

セブン-イレブン

印西中央南店

千葉県印西市中央南1-1-2

電話：0476-46-3575 レジ#2

2019年08月17日(土) 09:07 費066

領収書

7PL 紙 カップ 270ml 20P ¥213

7P*レミアム むぎ茶 1.5L
@149x 2 ¥298

合 計 ¥511

(内消費税等 ¥37)

お 預 り ¥1,000

お 釣 ¥489

お買上明細は上記のとおりです。
商品価格には消費税等を含みます。

セブンネットショッピングで予約受付中!

乃木坂46

24thシングル 9月4日(水)発売!

セブンネットショッピングだけの予約特典

メンバー&
ライブ生写真 3枚(各1)付き!



詳しくはコチラをご覧ください▶▶▶

4299466110

令和元年6月定例会の議案

議案1号 非常勤特別職の報酬及び費用弁償条例の一部改正

国会議員選挙執行経費基準法の一部改正により、投票・開票管理者、投票・開票立会人、選挙長、選挙立会人の報酬が日額100～200円上がり、条例に反映されたもの。今回の参議院議員選挙から適用される。都心部の自治体では、基準よりも上乗せして報酬を支払っているところもあるが、印旛地域ではほぼ基準額通りに執行している。また、投票率が低い若年層に選挙への関心をもってもらうため、印旛明誠高校の18歳に達した高校生に立会人を推薦してもらえるか調整中とのこと。

議案2号 市税条例の一部改正

地方税法の改定内容を条例に反映させたもの。内容は、5項目。

①婚姻歴のない単親世帯を「寡婦（夫）世帯」として、年収125万円以下の世帯を非課税対象とするもの（みなし寡婦（夫））。なお、所得税の寡婦控除の適用は見送られており、相当額を給付金として支給する措置がとられている（補正予算額114.5万円）。市民税への影響額は15万円ほど。

②公的年金受給者が年金保険者に扶養親族の状況を申告すれば、改めて市への申告が不要になるというもの。

③資本金1億円以上の大法人に電子申請を義務化するもの。印西市では292社が対象となっている。

④軽自動車税のグリーン化特例の見直しで、令和3年3月までに登録車両は環境性能によって25%～75%の軽減になるが、それ以降令和5年3月までは電気自動車以外は対象外となる。

⑤消費増税に伴い、10月から自動車取得税が廃止され環境性能割税になるが、令和元年10月から2年9月までに登録された一定の燃費基準を満たす車両は、非課税もしくは1%に軽減する特例措置が設けられた。増税前の駆け込み消費を抑制する目的もある。

議案3号 家庭的保育事業の設備及び運営基準条例の一部改正

子ども子育て支援法の「家庭的保育事業」には、家庭的保育（保育ママ）、小規模保育、居宅訪問型保育（シッター）、事業所内保育の4種があり、保育の質の向上と緊急時、非常時の対応のための「連携施設」を今年度末までに契約することが義務付けられていたが、その期限が5年間延長されたもの。

国のデータでは、期限までに連携先が用意できた事業者は46%にとどまり、個人や小規模の事業者が単独で連携先を見つけていく困難さがあると思われる。市内には原山に小規模保育所が一箇所認可されており、安定的な保育のためにも、市が連携先の調整に関わる必要がある。

議案4号 放課後児童健全育成事業の設備及び運営基準条例の一部改正

放課後児童健全育成事業(学童クラブ)の指導員が受けるべき放課後児童支援員認定資格研修の実施が、県に加えて政令指定都市(千葉市)でも可能になったという内容。千葉市が今後どのように研修を実施していくのか、また千葉市以外からの受け入れも可能なのか等、詳細はこれから情報収集するとのこと。

議案5号 市立学童クラブの設置管理条例の一部改正

児童数1,200を超えた小倉台小学校に三つ目の学童クラブができる。第1学童60人定員、第2学童40人定員、第3学童80人定員で、合わせて180人となる。一般的に保育需要は子ども人口の4割と言われているので、1~3学年の児童数からみて、これでも足りなくなる可能性がある。また、80人という大規模学童クラブで、保育の安全が保てるのか、十分な指導員配置ができていく必要がある。また、小倉台第1~3、木刈の4学童クラブが、来年度から指定管理者に移行される予定。今後、指定管理者の公募、選定、指定議案の審査などの手続きが進むものと思われる。

議案6号 介護保険条例の一部改正

10月からの消費増税を財源とする低所得者対策の一つで、令和元年度と2年度の2か年間、65歳以上の1号保険料の第1段階~第3段階を引き下げる。対象は4,780人。

<介護保険料>

第1段階	26,460円→22,050円(基準額×0.45→基準額×0.375)
第2段階	38,220円→30,870円(基準額×0.65→基準額×0.525)
第3段階	44,100円→42,630円(基準額×0.75→基準額×0.725)
第4段階	52,920円(基準額×0.9)
第5段階	58,800円(基準額)※月額4900円
第6段階	70,560円(基準額×1.2)
第7段階	76,400円(基準額×1.3)
第8段階	88,200円(基準額×1.5)
第9段階	99,960円(基準額×1.7)
第10段階	105,480円(基準額×1.8)
第11段階	111,720円(基準額×1.9)
第12段階	114,660円(基準額×1.95)
第13段階	117,600円(基準額×2)

議案第7号 一般会計補正予算

総額で1億5,384万円を増額補正。介護保険1号保険料の軽減分(議案6号関連)の繰出し金2,164万円、小倉台第3学童新設工事費1億5,549万円(議案5号関連)、印西中学校体育館のバスケットゴール補修費873万円、各公民館・交流館の施設補修費248万円など増

額する一方で、道路維持補修費の国庫補助金が申請額の 27%で内示され、それに伴って 5,650 万円減額されている。

議案第 8 号 介護保険特別会計補正予算

1号保険料の軽減分（議案6号関連）で、一般会計からの繰出し金（議案7号関連）を増額し、保険料を減額する補正予算。

議案第 9 号 工事請負契約の締結

中央駅北コミュニティセンター（フレンドリープラザ）の大規模修繕工事の請負契約。事後審査型一般競争入札で、松戸市の（株）湯浅建設が1億8,480万円で落札。工事期間は来年の2月末までで、工事期間中は完全閉館となる。サザンプラザで開館時期の周知に混乱があった状況を踏まえて、部分開館はしない方針。

議案第 10 号 工事請負契約の締結

今後の生徒増が予測される西の原中学校に校舎を増築する。令和9年度には、現在の生徒数のほぼ倍となり、23学級まで増えると見込まれるため、鉄骨造2階建てで多目的室も含め10教室分のスペースを増築する。普通教室はこれで対応できると思われるが、生徒数がほぼ倍になって、音楽室などの特別教室、体育館は対応できるのか、推移を見守っていく必要がある。工事期間は来年2月末までで、横芝光町の（株）畔蒜工務店が3億2,340万円で落札している。

議案第 11 号 財産の取得

庁内の業務用ノート型パソコン150台、ソフトウェア75セットを、（株）大塚商会京葉営業部から2,162万円で購入。

議案第 12 号 財産の取得

消防団の小型ポンプ車3台を2,725万円で千葉市の大成産業（株）から購入する。26年度から一年に3台ずつ全部で29台を順次更新していく計画を進行中で、令和6年度まで続く。事後審査型一般競争入札で執行されているが、落札業者がこれまでに2者しかなく、しかも2者が交互に落札している状況。

議案第 13 号 千葉県市町村総合事務組合理約の変更協議

千葉県市町村総合事務組合の構成員から「香取市東庄町病院組合」が抜けるための規約変更協議。

議案第 14 号 工事請負契約の締結

旧印旛高校跡地に整備予定の（仮称）スポーツ広場の工事請負契約。施設内容はナイター設備付きのフットサルコート2面、クレー舗装の多目的広場などで、旭市の鈴木建設（株）が

1億2,540万円で落札している。

報告1号 繰越明許費繰越計算書の報告（一般会計分）

6事業、2億7,903万円が昨年度に繰越手続きされていたが、うち2事業については繰り越さず昨年度内に事業が終了していた。

報告2号 繰越明許費繰越計算書の報告（下水道特別会計分）

報告3号 事故繰越し繰越計算書の報告

事故繰越とは、前年度に繰越明許の手続きをしないまま財源を繰り越したもの。市史編纂事業と市道01-039号線の復旧工事で不測の事態が起こったためという。市史編纂については、校了後にプライバシー保護のための被覆要請に対応したため。道路工事は入札が2回中止となったためとのこと。

諮問1～3号 人権擁護委員の推薦

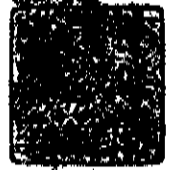
再任者3名を推薦。

印西市立中央駅前地域交流館使用許可書
(兼領収書)

令和元年10月 5日

市政報告会 (創進) 様

印西市教育委員会



施設等の使用については、次のとおり許可します。

予約番号	使用年月日(曜日) 使用時間	施設名	使用目的 使用人数	使用料	使用備品	備考 (行事名)
13409	R 1. 11. 17(日) 13:00~17:00	中央駅前地域 交流館 会議室 4	その他(目的 外使用) 10人	1,080円		11.17
注意事項 1 法令または条例等に違反した場合や館長の指示に従わない時は、使用許可を取り消す場合があります。 2 設備や備品を汚損した場合は、その損害を賠償していただきます。 3 使用時間になりましたらこの許可書を受付に提示して、鍵と使用報告書をお受け取りください。また、終了時間までに鍵と使用報告書を受付に返却してください。					使用料合計 1,080円	
					下記の金額を領収しました。 1,080円	
					領収印 印西市 出納買 -11.17-5 領収 中央駅前地域交流館	

領収書

印西市市民活動支援センター

19年11月17日13時33分

【おにぎり】 おにぎり A4	727円
【おにぎり】 おにぎり A4	600円
【おにぎり】	800円
【おにぎり】	800円
【おにぎり】	200円

0001-No.1102

領収書

印西市市民活動支援センター

19年11月17日14時04分

【おにぎり】 おにぎり A4	187円
【おにぎり】 おにぎり A4	150円
【おにぎり】	150円
【おにぎり】	500円
【おにぎり】	350円

0001-No.1103

セブン-イレブン 印西中央南店 千葉県印西市中央南1-1-2

電話：0476-46-3575 店舗#1

2019年11月17日(日) 13:09 費179

領 収 書

おにぎり 天然水 2L
@104x 2 *208


小 計 (税抜 8%)	¥208
消費税等 (8%)	¥16
合 計	¥224
(税率 8% 対象)	¥224)
(内消費税等 8%)	¥16)
キャッシュレス還元額	-4
(キャッシュレス還元対象額)	¥224)
nanaco支払	¥220

お買上明細は上記のとおりです。

[*]マークは軽減税率対象です。

nanaco番号 *****6333
nanaco残高 ¥8,167
今回ポイント 2P
ポイント残高 853P
伝票番号 191-117-134-9401

④アプリでおにぎりを10個買うと
おにぎり1個無料プレゼント!
アプリで参加状況を確認できます



DLはこちら

*クーポンは条件達成から24時間以内に発行されます。
キャンペーン期間: 11/1(金)~12/3(水)

令和元年9月定例会の議案

議案1号 会計年度任用職員の給与等に関する条例の制定

公共サービスにおいても非正規化が急速に進んでおり、印西市でも正規職員と非正規職員の割合は6：4となっている。非正規職員無しで、公共サービス、とくに介護保険や保育、介助員や英語講師といった新たな教育現場の需要については、すでに成り立たない状態になっている。それにもかかわらず、印西市では、「正規職員の足りないところを補う」という位置づけをかえず、正規職員の初任給をベースに賃金が決められており、高校生のアルバイトでも時給千円を超えている現在、いまだ時給930円などという職種もあり、たいへん申し訳ない状況になっている。

地方公務員の働き方を規定する地方公務員法は、基本的に常勤の正規職員によって公共サービスが行われ、正規職員で足りないところを「臨時職員」が補うという建て付けになっており、非常勤職員は法的にあいまいな状態にあった。地方公務員法の改正に伴いこの条例は、「非常勤職」を公務員として位置づける性質のもので、その代わりに、これまでの時給賃金に加えて期末手当が正規職員と同様の月数で支給されることになる。公共サービスの非正規化を追認することになるが、4割もいる非常勤職員にとっては待遇改善になる。

ちなみに、臨時職員は、任用期間は一年以下で、勤務形態は正規職と同じく常勤である。印西市には、臨時職員がおらず、すべて非常勤（パートタイム）任用である。非常勤は、常勤よりも週あたりの勤務時数が少なければならない。正規職員は週40時間勤務で、それよりも30分少ない週39.5時間勤務という非常勤職員も少数であるがおり、業務内容は正規職員とほぼ同様と思われる。そうした実態を考えると、追認でいいのかとの疑問もあるが、社会全体として、非正規の働き方の待遇改善に向かっていく方向になり、同一労働同一賃金により近づき、「正規雇用がよく非正規雇用は底辺」という社会階層の定着に掉さすものでもあると考える。施行は令和2年度からで、期末手当が支給されることによる財政負担は、6,700万円と推計されている。

議案2号 印鑑条例の一部改正

住民基本台帳法施行令の改正により、令和元年11月から住民票に「旧姓」の記載が可能なる。結婚後も旧姓のまま仕事を続ける人が増えたことによる措置で、同様に印鑑証明にも記載が可能になるという改正。住民票と連動するわけではなく、どちらも申請が必要。あわせて、本人が本人の意思によって印鑑証明の発行を申請するとき、印鑑登録カードの提示が不要になる改正がされた。

議案3号 職員の勤務時間、休暇に関する条例の一部改正

「働き方改革」「時間外勤務抑制」の流れから、時間外勤務の上限を設ける。労働基準法、人事院規則改正によるもので、国家公務員と同じ規定を設けることになる。具体的には週45時間かつ一年360時間の範囲で月100時間未満、年720時間の範囲で2か月～半年間の平均が月80時間未満とする。言うまでもなく、「過労死ライン」といわれる月80時間を超える時間外勤務が2～6か月続く状態で、上限として設ける意味があるのか疑問。

議案4号 公益法人等への職員派遣に関する条例の一部改正

地方公務員法改正の余波で条項番号を整理したもの。地方公務員法の改正内容は「すべての職員を条件付き採用にする」というもの。条件付き採用とは、民間の試用期間を設けた採用に相当するもので、期間は半年間。これまでは、臨時職員や非常勤職員は条件付き採用でなかったが、議案1号の会計年度任用制度の導入に連動したものと思われる。

公益法人への職員派遣は、現在は千葉県文化財センターに1名派遣しているとのこと。

議案5号 非常勤特別職の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

議案1号の会計年度任用制度の導入にあわせて、これまで非常勤特別職としておかれていた職種を、廃止、有償ボランティア、会計年度任用職員に振り分けるもの。今年度の予算書によると、非常勤特別職は2,240人おり、付属機関の審議会・協議会の委員や専門性のある相談員、指導員などの職で、公務員法の適用を受けない。ちなみに市議会議員も非常勤特別職である。改正後は、介護相談員や交通指導員などは「有償ボランティア」に、社会教育指導員や消費生活相談員など「労働性の高い」職種は会計年度任用制度に移行される。

議案6号 職員の給与条例の一部改正

非正規雇用の制度の一つとして、印西市には「任期付職員」が、学童保育指導員、保育園保育士、保健師を中心に166人存在している。その待遇（賃金）を改善して、常勤職員との均衡を図る改正。改正によって、令和2年度から、期末手当に加えて勤勉手当と地域手当が支給されるようになり、再任用職員（定年退職後の再雇用）とほぼ同待遇になる。財政負担は、9,200万円と推計。

議案7号 手数料条例の一部改正

建築基準法施行令、建築物省エネ法の改正により、所管行政庁（建築確認申請をする建築主事がいる地方自治体。印西市は低層の木造建築を所管する限定特定行政庁）の事務に、省エネ性能向上計画の審査が追加され、その手数料が規定されたもの。対象となる建築物はマンションなど一定規模以上のもので、実質的に印西市への申請はない。

議案 8 号 歩行喫煙・ポイ捨て防止条例の一部改正

千葉ニュータウン中央駅前に 2 か所設けられている「指定喫煙場所」が撤去される。公共的空間である駅前がようやく全面禁煙に。未だに「分煙」を主張する意見があった(@_@)

議案 9 号 市道構造の技術的基準を定める条例の一部改正

道路構造令の改正に伴い、自転車通行帯の設置要件などが規定された。自転車と歩行者の事故が増えていることから、より自転車と歩行者の分離を促進する方向性。市内では、ニュータウン中央のイオン前の道路にすでに自転車通行帯が設けられている。

議案 10 号 地区計画条例の一部改正

良好な住宅地の環境保全のために、地区計画を設定して建築物等の制限や規制を行っている。新たに造成されている小林浅間二丁目地区を加えるもの。

議案 11 号 消防団の設置、定員、任免、服務に関する条例の一部改正

地方公務員法の改正により、消防団員の欠格条項から、成年被後見人、被保佐人を削除するもの。本人が希望すれば、被後見人、被保佐人も入団ができることになる。組織としての合理的配慮が求められる。

議案 12 号 幼稚園保育料条例の一部改正

幼児教育無償化に伴う、子ども子育て支援法の改正による。「支給認定保護者・子ども」が、「教育・保育給付認定保護者・子ども」と用語が変更される。

議案 13 号 水道事業設置条例の一部改正

特別会計でだった下水道事業に公営企業会計を適用し、組織、会計を水道事業と統合するもの。条例の名称も、水道事業設置条例から、水道及び下水道事業設置条例となる。

議案 14 号 水道事業給水条例の一部改正

水道法の改正により、給水装置工事業者の指定の更新規定が整理された。

議案 15 号 一般会計補正予算（3号）

10 億 79,603 円の増額補正。もっとも大きな増額要因は、木下駅南口の日本デキシー跡地購入に向けた「土地開発基金」への繰出金 8 億 5 千万円。その支出に、固定資産税の増収 5 億円、予算編成時から減った人件費 1 億円（新規採用の内定辞退 6 名など）や、幼児教育無償化に伴う交付金約 4 億円などで賄う。これだけ大きな「買い物」に、財源に困るようなことはないようだ。また、ふるさと納税の返礼品が 324 万円増額されていて、返礼品に市内で製造している「ハズキルーペ」を加えたところ、寄付額が約 10 倍になった。

議案 16 号 下水道事業特別会計補正予算（1号）

30年度決算で繰越金 4,927 万円が確定し、この特別会計の財政調整基金に繰り出した。公営企業会計への移行が一段落したのか、職員が 1 名減となった（現場はまだまだ人が足りないとの答弁だったが）。

議案 17 号 介護保険特別会計補正予算（2号）

30年度決算で繰越金 2 億 4,870 万円が確定し、特別会計の財政調整基金に繰り出した。

議案 18 号 工事請負契約の締結

印西文化ホールと大森図書館の大規模改修工事の請負契約。税込 15 億 4 千万円で横芝光町の古谷建設が受注。工期は、令和 2 年 9 月まで。照明の LED 化、トイレの洋式化はされるが、あくまでも建物本体の長寿命化工事であり、各部屋の防音などの機能向上はされない。

議案 19 号 市道の路線変更

北千葉道路（国道 464 号）の延伸工事に伴う国道下の改良路線 5 路線を認定するもの。

議案 20 号 市道の廃止

議案 19 号の路線変更と同時に 1 路線を廃止。

議案 21 号 市道の認定

上記 2 議案と同時にされる新規路線 9 路線の認定。

議案 22 号 工事請負契約の変更

前議会で議決した「西の原中学校校舎増築工事」の契約金額と工期を変更するもの。基礎工事中に地中から農業用廃プラスチックなどの産廃が「出土」し、土壌改良できない不良土 101 m³の入れ替えのために、452 万円増額し、工期も 1 か月延ばす。産廃の投棄は、ニュータウン事業造成時にされたものか、それ以前の投棄か不明。請負業者は横芝光町の畔蒜工務店。

議案 23 号 市立保育園の設置管理条例の一部改正

議案 12 号と同様に、保育園部分の用語変更。

報告 1 号 継続費精算報告書

28～30 年度の継続費となっていた障がい者サポートセンター整備事業の報告。30 年 12/1 から開所した。

報告 2 号 平成 30 年度健全化判断比率、資金不足比率の報告

地方財政健全化法の規定で、決算時に「健全化判断比率」、公営企業の「資金不足比率」を報告することになっているが、印西市は赤字、資金不足を生じておらず、まったく「健全化」の必要ないため、数値での報告はされていない。実質公債費比率も、イエローカードが25%、レッドカードが35%のところ、印西市は1.8%となっている。

報告3号 専決処分の報告

木下東で、公用車がごみ集積所のブロック塀に接触する事故をおこし、修繕費などを賠償するもの。

同意1号 固定資産評価審査委員会委員の同意

固定資産評価に関するトラブルを審査する委員で、新任者1名を同意。

同意2号 教育委員会教育長の同意

教育委員会委員長と教育長を同意するもの。現任者が再任。

同意3号 教育委員の同意

教育委員会委員の再任1名を同意。

諮問1、2号 人権擁護委員候補者の推薦

再任者2名を推薦

発意1号 市議会委員会条例の一部改正

下水道課が水道部に統合され、上下水道部となるため、常任委員会の所掌部が変更された。議会運営委員会からの発意案という形で提出された。

印西市立中央駅前地域交流館使用許可書
(兼領収書)

令和元年12月14日

市政報告会 (創造) 様

印西市教育委員会



施設等の使用については、次のとおり許可します。

予約番号	使用年月日(曜日) 使用時間	施設名	使用目的 使用人数	使用料	使用備品	備考 (行事名)
16833	R 2. 2. 9(日) 13:00~17:00	中央駅前地域 交流館 会議室 4	その他(目的 外使用) 10人	1,080円		~22-g
注意事項 1 法令または条例等に違反した場合や館長の指示に従わない時は、使用許可を取り消す場合があります。 2 設備や備品を汚損した場合は、その損害を賠償していただきます。 3 使用時間になりましたらこの許可書を受付に提示して、鍵と使用報告書をお受け取りください。また、終了時間までに鍵と使用報告書を受付に返却してください。					使用料合計	1,080円
					下記の金額を領収しました。	
						1,080円
					領収印	

セブン-イレブン
印西中央南店
千葉県印西市中央南1-1-2

電話：0476-46-3575 ｼﾞｬﾝ#2


2020年02月09日(日) 12:42 費169

領収書

7PL 紙 カップ* 270ml 20P	198
7PL 紙カップ* 270ml 10P	128
ｲﾝﾊﾟ 天然水 2L	
@104x 2	*208
<hr/>	
小計 (税抜 8%)	¥208
消費税等 (8%)	¥16
小計 (税抜10%)	¥326
消費税等 (10%)	¥32
合計	¥582
(税率 8% 対象)	¥224
(税率10% 対象)	¥358
(内消費税等 8%)	¥16
(内消費税等10%)	¥32
キャッシュレス還元額	-11
(キャッシュレス還元対象額)	¥582
nanaco支払	¥571
お買上明細は上記のとおりです。	
[*]マークは軽減税率対象です。	
nanaco番号	*****6333
nanaco残高	¥7,176
今回お*ｲﾝﾄ	5P
お*ｲﾝﾄ残高	971P
伝票番号	200-209-203-6774

④アプリで対象のスイーツを5個買う毎に
対象の **スイーツ100円引きクーポン**!

詳しくはアプリをチェック



DLはこちら

のクーポンは条件達成から24時間以内に取得されます。

キャンペーン期間: 1/1(水) - 2/29(土)

領収書

印西市市民活動支援センター

20年02月09日13時08分

【りんごパイ】		
正* - 7/70 A4		274
【きんかぐ】		
正* - 7/70 A4		2017
【ゴウカイ】		2017
【アスカ】		10017
【オツリ】		8017

0001-No.1157

領収書

印西市市民活動支援センター

20年02月09日13時04分

【りんごパイ】		
正* - 7/70 A4		10074
【きんかぐ】		
正* - 7/70 A4		1,00017
【ゴウカイ】		1,00017
【アスカ】		1,00017
【オツリ】		017

0001-No.1156

令和元年12月定例会の議案

議案1号 空家等の適切な管理に関する条例の制定

人口減少と高齢化によって、管理がされていない空家の増加が全国的に社会問題になっている。平成27年5月に「空家等対策特別措置法」施行されたところだが、特措法では対応しきれない緊急案件のために新規条例として制定した。

印西市では、特措法の施行後の平成29年度に空家の実態調査を行い、令和元年度末までに、「空家等対策計画」を策定することになっている。実態調査では、管理が不適切な空家は市内に389件あると把握されている。そのうち、特措法の「特定空家」に該当する物件は今のところないが、台風などの自然災害によって対応が必要となった際に条例で定めておく必要がある。ちなみに、389件のうち所有者が所在不明あるいは対応不能などの物件は13件あり、今後、特措法での対応となるか判定作業に入ることになる。

議案2号 名誉市民条例の一部改正

地方公務員法の一部改正で、成年被後見人、被保佐人の欠格条項（被後見人、被保佐人は公務員になれないという規定があった）が削除され、順次条例に反映されている。前議会では、条文として規定されていた消防団設置条例などが一部改正され、今議会では、引用条項が整理される形での一部改正となっている。

議案3号 職員の勤務時間、休暇に関する条例の一部改正

令和3年から施行される育児・介護休業法で、子どもの看護休暇・介護休暇が、非正規も含めすべての勤務者が一時間単位で取得できるようになる。地方公務員の非正規職員についても法の趣旨が反映されていくものと思われる。今回の改正は、会計年度任用職員制度の導入に向けて、臨時職員（常勤で半年間の任用）の休暇は任命権者が「調整」し、会計年度任用職員は「職務の性質を考慮して規則で定める」とされた。

議案4号 職員の旅費条例の一部改正

議案2号と同じく、欠格条項の引用条項が条文にあり、整理、改正された。

議案5号 特定教育・保育施設、地域型保育事業の運営に関する基準条例の一部改正

幼児教育・保育の無償化に伴う内閣府令の改正に準拠した条例改正と思われる。これまで「支給認定保護者・子ども」という用語が、「教育・保育給付認定保護者・子ども」に

すべて訂正されるなど、内容はいざ知らず、わざと複雑にしているのでは？と思う。この基準条例は内閣府所管の子ども子育て支援法に準拠したものだが、厚労省所管の児童福祉法に準拠した条例もあり、重複した内容もある。同じ施設のことを、子ども子育て支援法は「特定地域型保育」と呼び、児童福祉法では「家庭的保育」と呼ぶ。子ども子育て支援法では、主に教育保育サービスの給付について、児童福祉法では保育の最低基準などのサービスの質に関する規定がそれぞれされているのだが、それにしてももう少しすっきりさせてくれないと、追いかけていく者はため息がでる。

議案6号 国民健康保険税条例の一部改正

国民健康保険の基礎課税額の上限を58万円から61万円に引き上げるもの。この引き上げが適用されるのはおよそ200世帯ほどで、約570万円の税収増になると推定される。国民健康保険の財政運営は、平成30年度から都道府県に統合されたが、負担増に耐えられそうと思われるところに負担を求めていく姿勢はあい変わらず。国の社会保障審議会ではさらなる負担増をすでに議決しているとのこと。高い保険料が払えない→滞納すると保険証がもらえない→医療を受けるときは全額自費負担→払えないので生活保護という人がどのくらいいるのか、数字でなく実態をみて市としての運営判断をしていく必要があると考える。

議案7号 一般会計補正予算（第4号）

4億7,453万円の増額補正だが、歳出で目立ったのは、子ども人口の増加による児童扶養手当、子ども医療費助成、教材整備に関する費用など、あわせて8千万円ほどの増と、台風15号、19号による農業被害2億7,962万円、住宅被害支援5千万円（一部損壊住宅が200件以上あった。罹災証明により支援で上限50万円の支援となっている）、松崎台公園のり面崩落のほか土木関係の復旧費3千万円など。しかし、歳入としては、固定資産税（償却資産）が約3億円、県からの被災農業者支援が約2億円、給料表の改定、期末・勤勉手当の引上げによる影響額が任用替えの影響で18,641万円の減となっており、差額は財政調整基金に実質的に組み入れられた。

議案8号 国民健康保険特別会計補正予算（第1号）

1億5,693万円の増額補正。高額療養費の対象人数は減っているものの給付費が増えており（つまり、1件あたりの療養費がさらに高額になっている）、1億5,316万円の増で、同額の県補助金がある。また、前年度の繰越金1,275万円が精算され、財政調整基金に積み立てられた。

議案9号 下水道事業特別会計補正予算（第2号）

給料表の改定や手当の引上げ分の人件費に財政調整基金から222万円繰り入れて充てる。

議案10号 介護保険特別会計補正予算（第3号）

現在、市役所本庁舎一階に入っている北部地域包括支援センターが、バイパス道路沿いの空き店舗（旧コスモス歯科）に移転するため、その費用を基金から繰り入れ充てる。同施設には、社会福祉協議会の事務所にある「ワークライフサポートセンター（生活困窮者自立支援事業）」も同居する予定。

議案11～18号 指定管理者の指定（青年館）

合併前の旧印西市は、当時の文部省の補助金を活用して「青年館」を各地区の集会施設として整備してきた。古い時代には20施設以上あったが、少しずつ町内会などに譲渡をして、現在は、多々羅田、宗甫、結縁寺、小林新田、宮内、柏木、寺台、高花の8施設が残っており、地元の町内会を5年間の管理者として指定するもの。築四十年以上の物件もあり耐震化工事もされていないし、公共施設とはいえ、地元住民しか利用していないので、政策的にも早期に整理をしていく必要がある。

議案19～31号 指定管理者の指定（構造改善センター）

合併前の旧印旛村は、農水省の補助金を活用して、「構造改善センター」を各地区の集会施設として整備してきた。上記青年館と同内容の議案で、それぞれの地元区を5年間管理者として指定する。青年館よりは新しく昭和62年から平成3年までに整備され、現在は整備当時のまま13施設残っている。新しいとは言っても築三十年であり、青年館と同様に早期に政策的な整理をしていく必要があるが、平賀地区構造改善センターは合併時に出張所も開設してリニューアルしており、単に集会所として一つの方針で対応しきれぬのか疑問。複数課の調整協議が必要となる。

議案32～34号 指定管理者の指定（集会所）

旧印旛村の新興住宅地にディベロッパーが整備し、旧村に移管された集会所3施設の管理者を5年間指定するもの。3つのうち平賀学園台と吉高台はそれぞれの自治会を管理者としているが、若萩三丁目集会所は複数の自治会連合が管理委員会を組織しており、一自治会の集会所を越えた地域のコミュニティセンターとしての役割をもっていると考えられる。コミュニティ政策の基本方針をもたない印西市の現状では整理が難しいのではないかと思う。

議案35号 指定管理者の指定（市民活動支援センター）

中央駅前地域交流館2号館にある市民活動支援センターの指定管理者を、公募を行わない再指定の手続きで5年間、現在の管理者を指定するもの。指定管理者は東京ドームファシリティーズで、市民活動情報の発信、コーディネート力が評価された。指定管理料も実績、実態に即して人件費分が増額され、5年間で7,373万円に。

議案36号 指定管理者の指定（福祉作業所）

総合福祉センターにある福祉作業所コスモスの管理者を、公募を行わず社会福祉協議会に3年間指定するもの。福祉作業所は、設立以来、社会福祉協議会に運營業務が委託されてきた。平成25年に総合福祉センターの一部として包括的に指定管理者の公募が行われ、社会福祉法人六親会が選定されたが、議会の承認が得られず頓挫した経緯がある。その際には、保護者団体から社会福祉協議会から運営者を変えてほしくないという要望も出されたため、総合福祉センターの管理とは切り離し、前回指定から社会福祉協議会が指定されている。委託料は3年間で1億3,151万円。

議案37号 指定管理者の指定（クリオネクラブ）

障がい児の学童クラブとして自立支援法で児童デイサービスが制定される以前に設立され、平成17年度以降これまでに5回更新されているが、公募を行ったことはない。指定管理者は特定非営利活動法人マール福祉会。現在は放課後等デイサービスの民間施設がたくさんできてきており、政策的に一定の役割を終えたとして、「公共施設等総合管理計画実施方針」では廃止の方向が示されている。今回は最後の指定となるのか、今後の調整、整理が必要となる。委託料は3年間で約6千万円。

議案38号 公共下水道の徴収事務委託の規約協議

千葉県が上下水道料金の徴収事務一元化を順次実施している。印西市は、上水道が市営水道と県営水道と2系統あり、下水道は市が全域で行っている。今回の規約協議で、県営水道の千葉ニュータウン区域の下水道事務を県に委託し、令和3年1月から徴収事務を一元化するということになる。これまでは、上水道の使用量データを県から賃借し、水道使用量の二分の一を下水道使用量として料金の徴収を委託してきた。平成30年度決算でデータ賃借料は約200万円なので、割り算で1件あたり14円、徴収事務委託料は全域で8,200万円なので1件あたり436円となっており、1回の徴収事務に1件あたり約450円の経費がかかっていたことになる。今後、県への委託料がどの程度なのか明らかにはされなかった

が、約2千万円の経費節減になると見込んでいるという。利用者側としては、上水道と下水道が隔月ですらして徴収されてきたものが、一元化により2か月に1回あわせて徴収されることになり、支払いへの負担感が出てくるかもしれないが、上水道と一緒に徴収されることで、下水道の徴収率も向上すると見込んでいるとのことだった。

議案39号 指定管理者の指定（総合福祉センター）

総合福祉センターの管理者を3年間、社会福祉協議会に指定するもの。現在は社会福祉協議会と社会福祉法人六親会の共同体が指定管理者となっているが、今回の公募には社会福祉協議会単独で1者のみ申請され、選定された。委託料は3年間で2億7,147万円。レジオネラ菌の流出のために2度目の閉鎖となっているいこいの湯の再設計委託、改修工事料はこの中には含まれていない。

議案40号 指定管理者の指定（小倉台第1～第3、木刈学童クラブ）

小倉台第三学童クラブの開所にあわせて、小倉台小の3つの学童と木刈小の学童の管理運営者を3年間指定するもの。指定管理者は、シダックス大新東ヒューマンサービス。シダックスと言えばカラオケしか思い浮かばなかったが、他市では、学校給食調理、図書館運営、保育業務の実績が多数あるという。

問題となるのは指導員の賃金面などの待遇が不利にならないかという点。仕様書では、

「前年度（令和元年度）の配置職員の雇用に努め、賃金等も継続性に配慮すること」と記載されており、継続性とは「下がらないこと」だと答弁された。しかし、学童保育指導員の多くが「任期付職員」で、令和2年度から、期末手当に加えて勤勉手当と地域手当が支給される改正が前議会でされている上、議案43号の給料表の改定により、基本月給もアップすることになっている。市の任用のままであれば向上した待遇が、指定管理者になっても反映されるのか？ 明確な答弁なく、慎重に見ていく必要がある。指定管理料は4学童クラブ3年間で1億7,946万円。

議案41号 市議会議員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

市議会議員の期末手当を一般職員と同じ月数に改めるもの。4.45カ月を4.5月とするもの。

議案42号 常勤特別職の給与及び旅費に関する条例の一部改正

常勤の特別職（市長、副市長、教育長）の期末手当の月数を一般職員と同様に引き上げ

るもの。月数は41号議案と同じ。。

議案43号 給与条例の一部改正

人事院及び県人事委員会の勧告に従い、すべての給料表と住居手当を引上げ、勤勉手当の支給月数を夏と冬で均等にするもの。

報告1号 台風被害の物損事故の和解金

台風15号の強風で防火水槽の屋根が飛び、民間所有の電気配線を切断したもの。防火水槽の老朽化対策が間に合わず、管理が不十分だったため復旧費の全額を市が負担する。

報告2号 台風被害の物損事故の和解金

台風15号の強風により船穂小学校の樹木が隣家に落下し車両のフロントガラス損傷したもの。樹木が越境していたため、補修費の全額及び代車代などを市が負担するもの。

諮問1号 人権擁護委員候補者の推薦

人権擁護委員の再任者1名の推薦。


政 務 活 動 費 事 業 実 施 報 告 書

会 派 名 創 進

代表者氏名 櫻 井 正 夫


件 名	資料作成費
	資料のコピー
内 容	会派事業ならびに市政調査関連資料の写しをとったもの。
経 費	1, 8 4 0 円

納入通知書兼領収書

住所	千葉県印西市大森2364の2				
氏名	会米創造代表櫻井正夫様				
年度	所 属				
会 計	議 会 事 務 局				
01	款	項	目	節	細節
	20	5	2	2	5
金 額	60 円				
件 名	政務省郵費コピー代 (R1.9月)				
納入期限	年	月	日		
納入場所	印西市役所・指定(収納代理)金融機関				
上記のとおり納入してください。					
元 年 9 月 30 日					
印西市長 板倉正					
			領 収 済 印		
					
上記のとおり領収しました。					
収 納 金 融 機 関 名					


(納入者保管)

納入通知書兼領収書

住所	千葉県印西市大森2364の2				
氏名	会米創造代表櫻井正夫様				
年度	所 属				
会 計	議 会 事 務 局				
01	款	項	目	節	細節
	20	5	2	2	5
金 額	1,680 円				
件 名	政務省郵費コピー代用紙 (R1.12月)				
納入期限	年	月	日		
納入場所	印西市役所・指定(収納代理)金融機関				
上記のとおり納入してください。					
元 年 12 月 20 日					
印西市長 板倉正					
			領 収 済 印		
					
上記のとおり領収しました。					
収 納 金 融 機 関 名					


(納入者保管)

納入通知書兼領収書

住所	千葉県印西市大森2364の2				
氏名	会米創造代表櫻井正夫様				
年度	所 属				
会 計	議 会 事 務 局				
01	款	項	目	節	細節
	21	5	2	2	5
金 額	60 円				
件 名	政務省郵費コピー代 (R2.1月)				
納入期限	年	月	日		
納入場所	印西市役所・指定(収納代理)金融機関				
上記のとおり納入してください。					
2020年 10 月 5 日					
印西市長 板倉正					
			領 収 済 印		
					
上記のとおり領収しました。					
収 納 金 融 機 関 名					

(納入者保管)

納入通知書兼領収書

住所	印西市下蘇 236-4		
氏名	金本倉創進 代表 櫻井正夫 様		
年度	所	属	
元	議会事務局		
会計	款	項目	細節
	01	2152	25
金額	40 円		
件名	政務活動費セー代 (R2 3月分)		
納入期限	年	月	日
納入場所	印西市役所・指定(収納代理)金融機関		
上記のとおり納入してください。 2020年 02月 19日 印西市長 板倉正 直			
上記のとおり領収しました。		領収済印	
			
収納金融機関名			

(納入者保管)

政 務 活 動 費 事 業 実 施 報 告 書

会 派 名 創 進

代表者氏名 櫻 井 正 夫



件 名	資料購入費
『全国都市施策』の購入	
内 容	全国先進市の施策内容の研究のために購入し、活用した。
経 費	6,400円

領 収 証

千葉県印旛町

会派 創造 様

(有限会社) 株式会社

〒136-8575 東京都江東区新木場

丁目18番11号(〒136-8575)

株式会社 **ぎょうせい**

代表取締役
社長

金額	円	千	百	十	円
¥		6	4	0	0

お得意様 No.	-	前金・即金 申込年月日	/ /	納入先 勤務先
----------	---	----------------	-----	------------

品 名	号 数	数 量	単 価	金 額
全国都市圏策		1		6,400円

令和元年 10月 18日

上記のとおり領収いたしました。

ご注意

本証に取扱者印のないときは当社はその責を負いません。
本証に関するご照会にはすべて取扱者と領収証番号をご記入ください。

取扱者 No.		印		領収証 番号	002605
------------	--	---	---	-----------	--------



令和元年度版

全国都市の 特色ある施策集

ひとと地域が輝くまちづくり

全国市議会議長会 編集

きょうせい

ISBN978-4-324-10491-0

C3032 ¥6400E



9784324104910

定価(本体6,400円+税)

[5181222-00-000]



1923032064002

